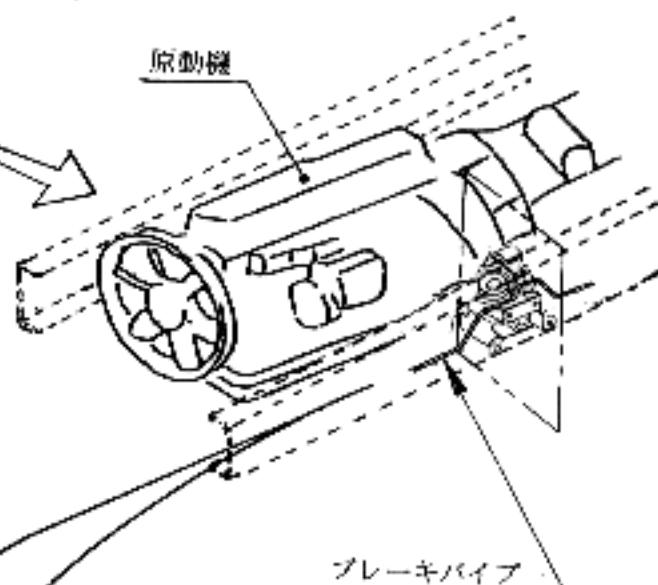


改善箇所説明図



改善の内容

全車両点検し、当該ブレーキパイプと原動機のフレーム取付部の隙間が少ないものは修正し、隙間を確保する。また、当該ブレーキパイプが損傷しているものはブレーキパイプを対策品と交換する。

フレーム

基準不適合箇所

原動機のフライホイールから作業用の動力を取出す装置（PTO）を装着した車両の制動装置において、ブレーキパイプの配管が不適切なため、当該ブレーキパイプの一部が原動機のフレーム取付部と接触するものがあり、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、当該ブレーキパイプが損傷しブレーキオイルが漏れ、制動力が低下するおそれがある。

ブレーキパイプ

原動機のフレームへの取付部

識別：改善済み車両には左エンジンフット上面に黄色ペイントを塗布する。